

高熊

天然記念物 ー高熊（打合）の牡蠣（カキ）礁ー

仁歩川、室牧川の合流地点下流の河床には、旧八尾町地内で天然記念物に指定されている高熊の牡蠣礁があります。幅1m長さが50m程の牡蠣の化石層が竹林まで続いています。この地層は黒瀬谷累層の最上部にあたり、泥質の海底にアツガキが重なり合って生活していた痕跡だと考えられています。市指定天然記念物に指定されているので、もちろん採取はできません。



また、この牡蠣礁の上流側には、炭化したものや石化した樹木（珪化木）もあります。珪化木は細胞壁の中に二酸化珪素（ $\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$ ）を含む溶液が入り込み、もともとの内容物と置き換わって全体が珪質化ものです。珪質化によってオパール化したり、めのう化したりします採取直後の珪化木が虹色に光ることがあるのは、オパール化しているからです。



牡蠣礁全景



牡蠣礁拡大



珪化木